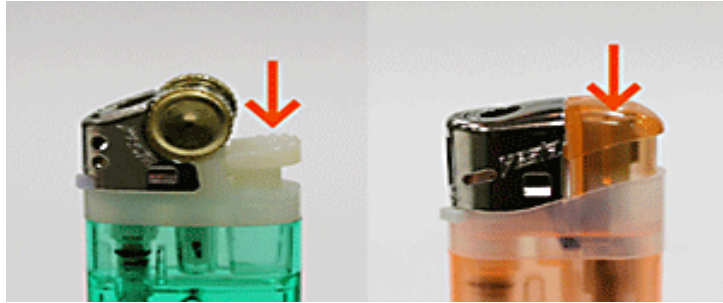


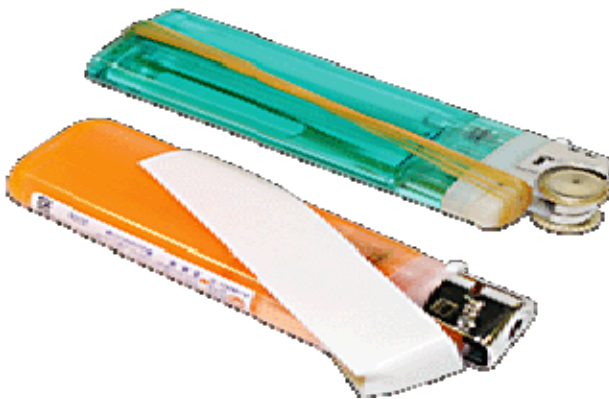
ライター・ボンベの処分方法

使い捨てライターやライター用ガスボンベは通常使い切るものですが、もしガスが残っているうちに不要となった場合は必ずガスを抜いてから廃棄して下さい。

使い捨てライターのガスの抜き方



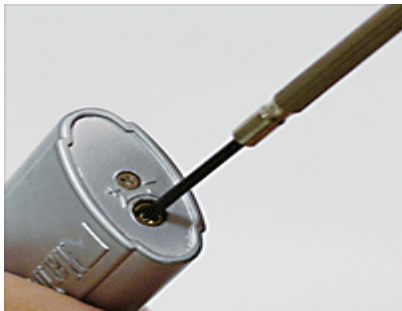
1. 周囲に火の気のないことを確認する。
2. 操作レバーを押し下げる。着火した場合はすぐに吹き消す。
3. 輪ゴムや粘着力の強いテープで、押し下げたままのレバーを固定する。
4. 「シュー」という音が聞こえれば、ガスが噴出している（聞こえない場合は炎調整レバーをプラス方向にいっぱい動かす）。
5. この状態のまま付近に火の気の無い、風通しのよい屋外に半日から1日放置する。
6. 念のために着火操作をして、火が着かなければ、ガス抜きは完了です。



注入式ガスライターのガスの抜き方

もしも注入式ガスライターを廃棄することになった場合、次の手順が必要となります。

1. 周囲に火の気のないことを確認する。



2. ライターのガス注入口の先端を細いドライバーの先などで押す。するとガスが噴出するので、噴出が止まるまで押し続ける。「シュー」という音がしなくなれば完了です。
3. 念のために着火操作をして、火が着かないことを再確認しましょう。

ライター用ガスボンベのガスの抜き方

1. 風通しのよい屋外で、周囲に火の気のないことを確認する。



2. ボンベの先端(ノズル)を下に向け、少し斜めの角度で地面に押し付け、ガスを噴出させる。残量にもよるが、噴出が止まるまでには1~3分程度かかる。※最初はかなり勢いよくガスが噴出する。/ 気化熱によりボンベが冷たくなる。/ 地面に液状のガスが付着することもあるが、すぐに気化するので心配ない。
3. 「シュー」という音がしなくなれば、ガス抜きは完了する。

以上の要領で、ガス抜きを済ませたライターやボンベは、燃やせないごみとして排出して下さい。